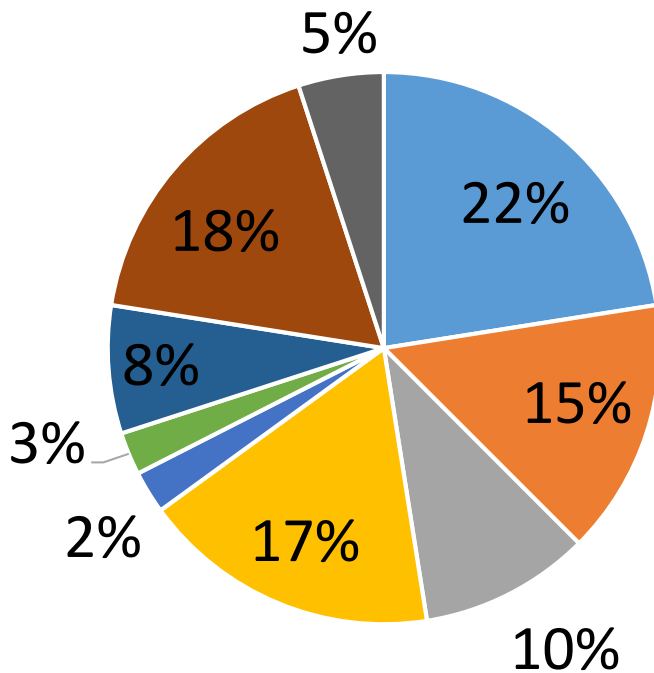


4号緑地 アンケート調査結果報告書

1 黒浜緑地整備事業について、おたずねします

こちらの項目は、黒浜緑地の利用方法をイメージしていただくことにより、緑地に期待する機能について、おたずねすることを目的とした設問となります。

1-問1 黒浜緑地整備計画説明会資料のような整備が行われると、あなた、またはあなたの世帯にとって、良いことがあると思う場合、その理由は何ですか？（○はいくつでも）



- 1. 落葉や落枝に悩まされることが無くなるので。
- 2. 日当たりが良くなり、明るい印象となるので。
- 3. 景観が良くなるので。
- 4. 散策やジョギングを楽しんだり、休息に利用することができるので。
- 5. 将来いつでも利用できるようになるので。
- 6. 自分の親類や友人など、他の人にとって良いことなので。
- 7. 自分の子孫を含め、将来の世代にとって良いことなので。
- 8. その他
- 回答なし

【集計結果】

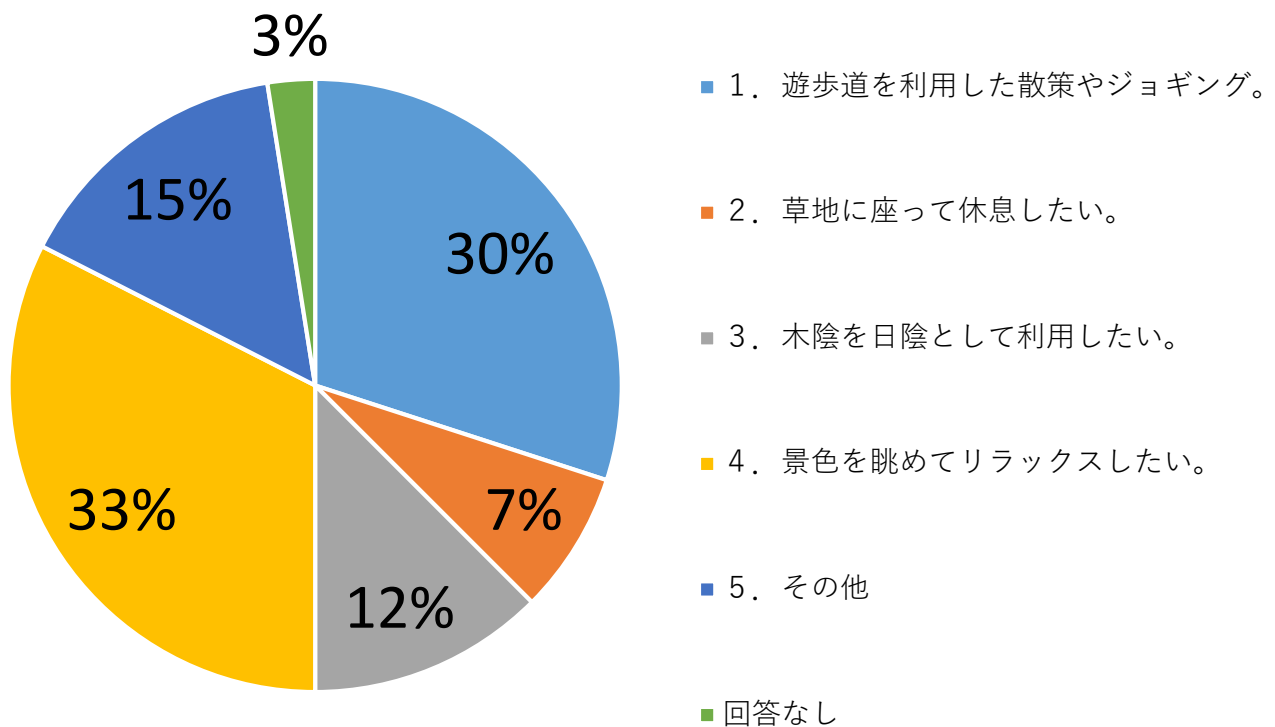
「1. 落葉や落枝に悩まされることが無くなるので」が22%で最多であり、次に、「8. その他」が18%が続いています。続いて、「4. 散策やジョギングを楽しんだり、休息に利用することができるので」「2. 日当たりが良くなり、明るい印象となるので」と続き、さらに「3. 景観が良くなるので」「7. 自分の子孫を含め、将来の世代にとって良いことなので」という結果でした。なお、「回答なし」も5%確認されます。

【結果分析】

「1. 落葉や落枝に悩まされることが無くなるので」が22%で最多ですが、次点である「8. その他」も含めて、「4. 散策やジョギングを楽しんだり、休息に利用することができるので」「2. 日当たりが良くなり、明るい印象となるので」までは、ほぼ同じ割合であり、「3. 景観が良くなるので」も一定の割合を占めています。このことから、緑地の利用に関して、多様なイメージがあるものと考えられます。次点には、「8. その他」がありますが、内容から判断し、「項目2 黒浜緑地の整備方針について、おたずねします」に組み入れることが適当と考えられます。なお、「回答なし」も5%確認されており、その意図の確認にも注意を払う必要があると考えられます。

4号緑地 アンケート調査結果報告書

1-問2 整備後に『緑地』を利用するとして、どのような目的での利用をされると思われますか？（○はいくつでも）



【集計結果】

「4. 景色を眺めてリラックスしたい」が33%で最多であり、次に、「1. 遊歩道を利用した散策やジョギング」が30%、合計で63%と回答の過半数を占めています。「5. その他」が15%、「3. 木陰を日陰として利用したい」は12%、「2. 草地に座って休息したい」は7%となっています。「回答なし」も3%確認されます。

【結果分析】

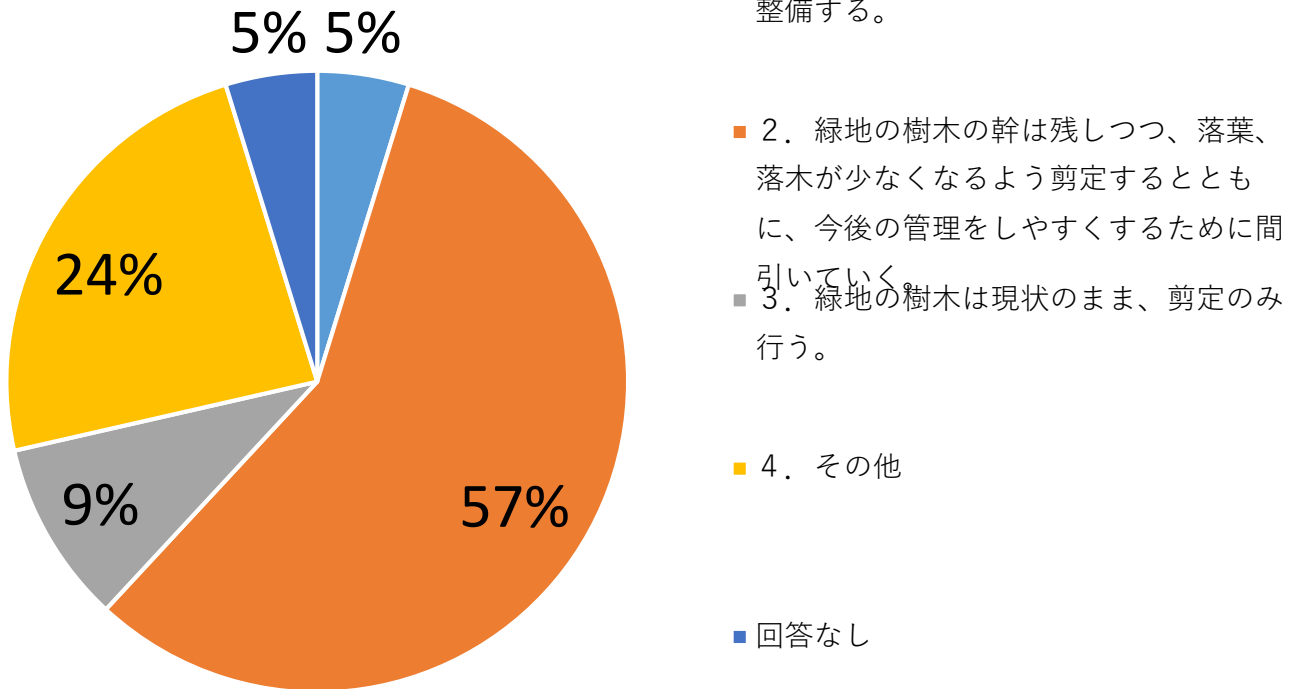
「4. 景色を眺めてリラックスしたい」及び「1. 遊歩道を利用した散策やジョギング」が合計で63%と回答の過半数を占めていることは、利用形態として、緑地の中に立ち入り活動するのではなく、遊歩道（緑道）又は自宅からの活用が想定されているものと考えられます。「5. その他」についても、緑地への立ち入りの可能性が高まる回答とは考えにくいため、斜面地に立ち入ることを前提とした、「3. 木陰を日陰として利用したい」「2. 草地に座って休息したい」との利用想定は低いものと考えられます。

4号緑地 アンケート調査結果報告書

2 黒浜緑地の整備方針について、おたずねします

こちらの項目は、安心安全への懸念、落葉や落枝などの課題解決のための整備方針について、部分別に回答をお願いする設問となります。

2-問1 緑地整備方針について、伐採、剪定、現状のまま、いずれが良
いと考えていますか？（○は1つ）



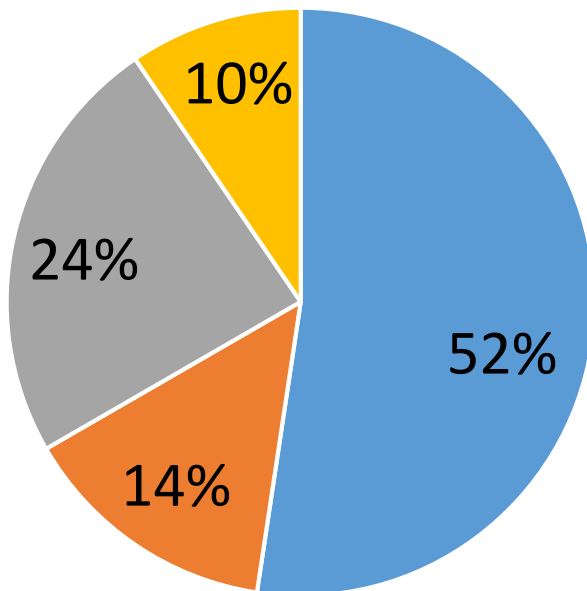
【集計結果】

「2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすいように間引いていく」が57%で過半数を超えており、次点は、「4. その他」の24%でした。「3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う」が9%、「1. 緑地の樹木を伐採、伐根し、斜面を整備する」と「回答なし」は、ともに5%という結果となりました。

【結果分析】

「2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすいように間引いていく」が過半数を超えているため、基本的な手法への要望であるものと考えられます。次点である、「4. その他」については、「項目1 黒浜緑地整備事業について、おたずねします」における、「その他」も含めて、「3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う」に含まれる回答と考えられるものもあり、基本的な手法に加え、この両者にも、勘案の必要な回答が寄せられているものと考えられます。

2-問2 斜面の上部と下部の平坦な部分の整備についてお伺いします。(○は1つ)



- 1. 日陰ができると良いので、落ち葉などの影響はあっても樹木を植えてほしい。
- 2. 日照や落ち葉などの影響が心配なので、樹木は植えないで草地としてほしい。
- 3. その他
- 回答なし

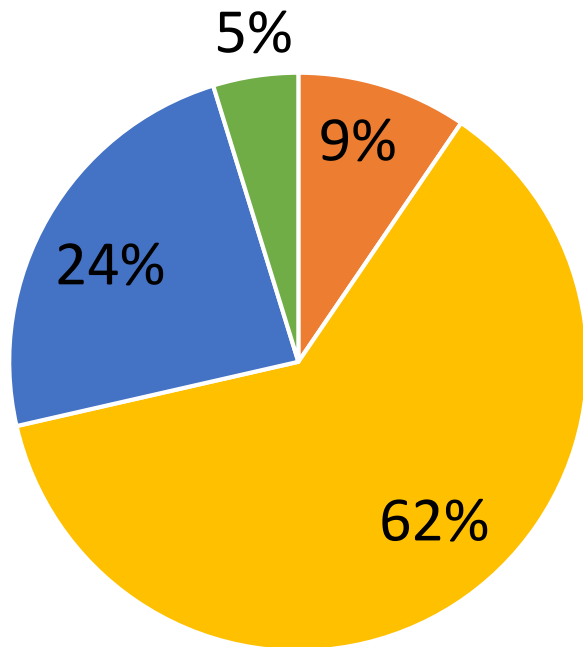
【集計結果】

「1. 日陰ができると良いので、落ち葉などの影響はあっても樹木を植えてほしい」が52%で過半数を超えており、次点は、「3. その他」の24%、「2. 日照や落ち葉などの影響が心配なので、樹木は植えないで草地としてほしい」は14%、「回答なし」も10%が確認されています。

【結果分析】

「1. 日陰ができると良いので、落ち葉などの影響はあっても樹木を植えてほしい」が、52%と過半数を上回っているため、基本的な考え方は、この手法であるものと考えられます。次点である、「3. その他」には、植栽に関する希望事項として、若木や低灌木への植え替えではなく、現有樹木を残すことを希望する回答も確認されています。いずれの場合にも、生活環境に大きく影響する部分でもあるため、十分な配慮が必要であると考えられます。

2-問3 斜面部分の整備の方法についてお伺いします。(○は1つ)



- 1. シートなどにより保護し、草などが生えない整備としてほしい。
- 2. 新たに樹木や雑草が生えてこないようにして、表面を草などの植物で覆ってほしい。
- 3. 自然のままの草地として整備してほしい。
- 4. 落ち葉などの問題はあるが、樹木も配置した整備としてほしい。
- 5. その他
- 回答なし

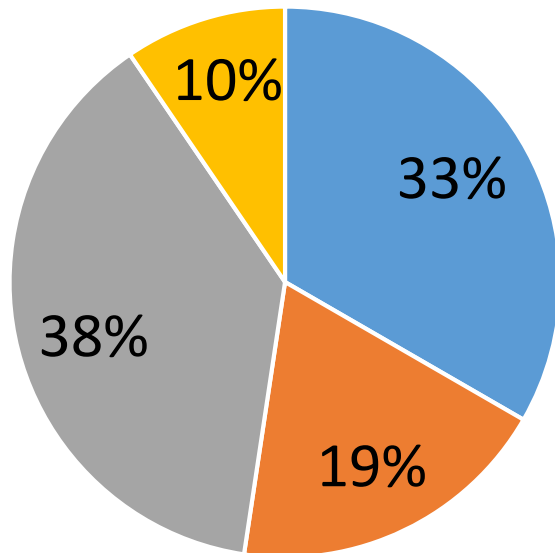
【集計結果】

「4. 落ち葉などの問題はあるが、樹木も配置した整備としてほしい」が、62%で過半数を超えており、次点は、「その他」の24%、続いて、「2. 新たに樹木や雑草が生えてこないようにして、表面を草などの植物で覆ってほしい」が9%、「回答なし」は5%という結果でした。

【結果分析】

「4. 落ち葉などの問題はあるが、樹木も配置した整備としてほしい」が過半数であるため、基本的な考え方は、この手法であるものと考えられます。次点である、「その他」の確認も踏まえると、表面を草地にして植え替えを行う手法ではなく、現有樹木を残す方向が望まれていると考えられる点に留意が必要となります。これらの留意点が、樹木だけではなく、斜面表面の保護手法にも反映されることが好ましいと考えられます。

2-問4 安全を考慮し転落防止のため斜面部分周辺（斜面上部及び脇）にフェンスの設置を検討しております。これを踏まえ、斜面部分の活用方法についてお伺いします。（○は1つ）



- 1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい。
- 2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい。
- 3. その他
- 回答なし

【集計結果】

「3. その他」が38%で最多であり、次に、「1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい」が33%で次点、続いて、「2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい」が19%であり、「回答なし」は10%でした。

【結果分析】

「3. その他」が38%で最多であるが、内容については、立ち入りの可否について、二分されるため判断は難しいと考えられます。次いで、「1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい」が33%で、「2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい」の19%を上回っているため、基本的には、斜面地は立ち入り禁止とする方向性で良いと考えられます。

【方向性】

今回のアンケート調査結果を踏まえ、4号緑地の整備方針に加え、設計業務に反映させる要望としては、以下のとおりであると考えられます。

- ・斜面部分については、現在の樹木を残した上での整備を希望する回答が多いため、基本的には、伐採の上の植替えではなく、可能な限り、間引きと剪定を中心とした整備を行うことが好ましい。
- ・間引きにあたっては、樹木間に適切な距離が保たれるよう、また倒木や落葉などの影響についても配慮して行う必要がある。
- ・落葉の影響を低減させるという面では、常緑樹を中心として残すことが好ましい。
- ・斜面の表面の保護については、安全上の必要性から成形を行う必要がある場合を除き、間引いた後にも、できるだけ伐根は行わないこととし、現在の根張り と 下草 を 活用 した 整備 と する こと が 好 ま し い 。
- ・斜面部分については、若木などの植え替えなどの植樹、低灌木や芝生などの植栽なども行わないことが好ましい。
- ・斜面の上部と下部の平坦な部分についても、現存樹木についての、間引きや剪定を組み合わせた整備とし、住宅などへ倒木の可能性があるものについては、高さを詰めるための頭詰めを行うことが好ましい。
- ・斜面の利用については、立ち入りを想定するものではないので、上部はプライバシー保護と転落防止を目的とした、比較的頑強なフェンスやガードレール等を設置することが好ましい。
- ・下部については、斜面部分との分離を行うため、柵の設置を行う必要があるが、進入を完全に不可能とするほどの強固な設備は必要ないと考えられる。
- ・また、住宅側から斜面地に向かって、一定の視認性が確保できることが好ましい。

4号緑地 アンケート調査結果報告書

《その他でいただいたご意見》

1-問1	<p>そもそも整備をして欲しいとは思わない。現況の木々の維持管理を徹底してもらえれば問題ないと思う（落ち葉や枝の伐採をよりまめに実施願いたい）</p>
	<p>なし。</p>
	<p>斜面林を利用して整備した黒浜緑地は、昔から黒浜の地にあり、将来となった今現在も大切な蓮田市の財産である。斜面林を生かした整備が必要である。</p>
	<p>「資料のような整備」は大規模な伐採が前提となっているため、それによって良いことがあるとは全く思わない。</p>
	<p>整備方針の2部分的に総規模な植栽、花壇などを整備するのではなく、倒木などの対策をした上、可能な限り樹木を残して整備してほしい。</p>
1-問2	<p>幅が狭い4号緑地がイメージ通りになるとは思えないので、今のところメリットは感じない。</p>
	<p>イメージがわかりません。</p>
	<p>風当りを弱くするために樹木を利用したい。</p>
	<p>樹木は現状のまま、高さを抑えた剪定を行う</p>
	<p>現在の緑地の景色を眺めて四季を感じリラックスしている。</p>
1-問2	<p>歴史が感じられる大きな樹木を見ながら過ごしたい（斜面・平地ともに）。資料のような整備によってそれらが損なわれると感じる。※黒浜緑地には、延宝元年（1673年）から存在する大日如来像など歴史ある石造物が点在している。「黒浜の石造」という冊子でも紹介されている。これらが物語るようにとても長い時間・歴史で育まれた樹木を大切にすることを願っている。</p>
	<p>問1同様整備後のイメージがまったくわからないので、利用目的は今のところうかがえない。</p>
2-問1	<p>伐採、伐根はしないで剪定をまめに行い落葉の掃き、拾いをまめに行ってほしいです。自宅の真横にあるので、ゴキブリ、くも等害虫が自宅に入り込み大変不快です。</p>
	<p>①今ある樹木が健康的に育つようにうっそうとしている竹・笹・下草をしっかりと整備してほしい。 ②可能な限り樹木を残してほしいが、適切な樹木の診断を行い、必要最低限の間引きをしてほしい。 ③伸びすぎている枝は極端な剪定ではなく、適切な剪定をしてほしい。 →②③ともに植生や自然環境の専門家による明確な基準を示してほしい。 ①②③は斜面・平地ともに。</p>
	<p>イメージは伐採を前提としており、到底納得できない。</p>
	<p>1-問1・2と同じ</p>

4号緑地 アンケート調査結果報告書

2-問2	樹木は植えないで季節毎に管理をして雑草が生えない様にしてほしい。
	樹木を植えてほしいですが、剪定、落ち葉拾い等管理をもっとこまめにお願い致します。害虫に困っています（ゴキブリ、くも、ダンゴムシ）
	伐採は必要ないと思う。
	現在の樹木をできるだけ残してほしい。
	各号地毎のより具体的な整備案を示してほしい
2-問3	地盤補強をしてチップロードまで施工してベンチ等を設置して天気の良い日にゆっくり過ごせる様な環境にして欲しい。
	斜面を整備しなくてはならない程、伐採する必要はない
	斜面林を保全してほしい。緑の景観をなくさないでください。
	現在の樹木をできるだけ残してほしい。
	上記問2と同じ
2-問4	現存する歩道等を活用した事業計画をしてください。
	フェンスではなくネット等を張ってほしい。子供が時々遊んでいるので子供達の遊び場をなくさないでほしい。
	斜面上部にはフェンスがあるので、現状のままを強く希望。
	立ち入り禁止にしないでいい
	フェンス等の設置は必要がないと思う。
上記問2、3と同じ	